

試験問題 (論文)

十一時〇〇分～十二時三〇分

解答上の注意

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 二 問題は、一問ある。すべての問題に解答すること。
- 三 問題紙は、この頁を含めて七枚ある。
- 四 解答用紙は、二枚ある。
- 五 解答用紙は、二枚とも必ず提出すること。
- 六 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 七 下書き用紙は別途配布されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 八 問題紙及び下書き用紙は、持ち帰ること。

1

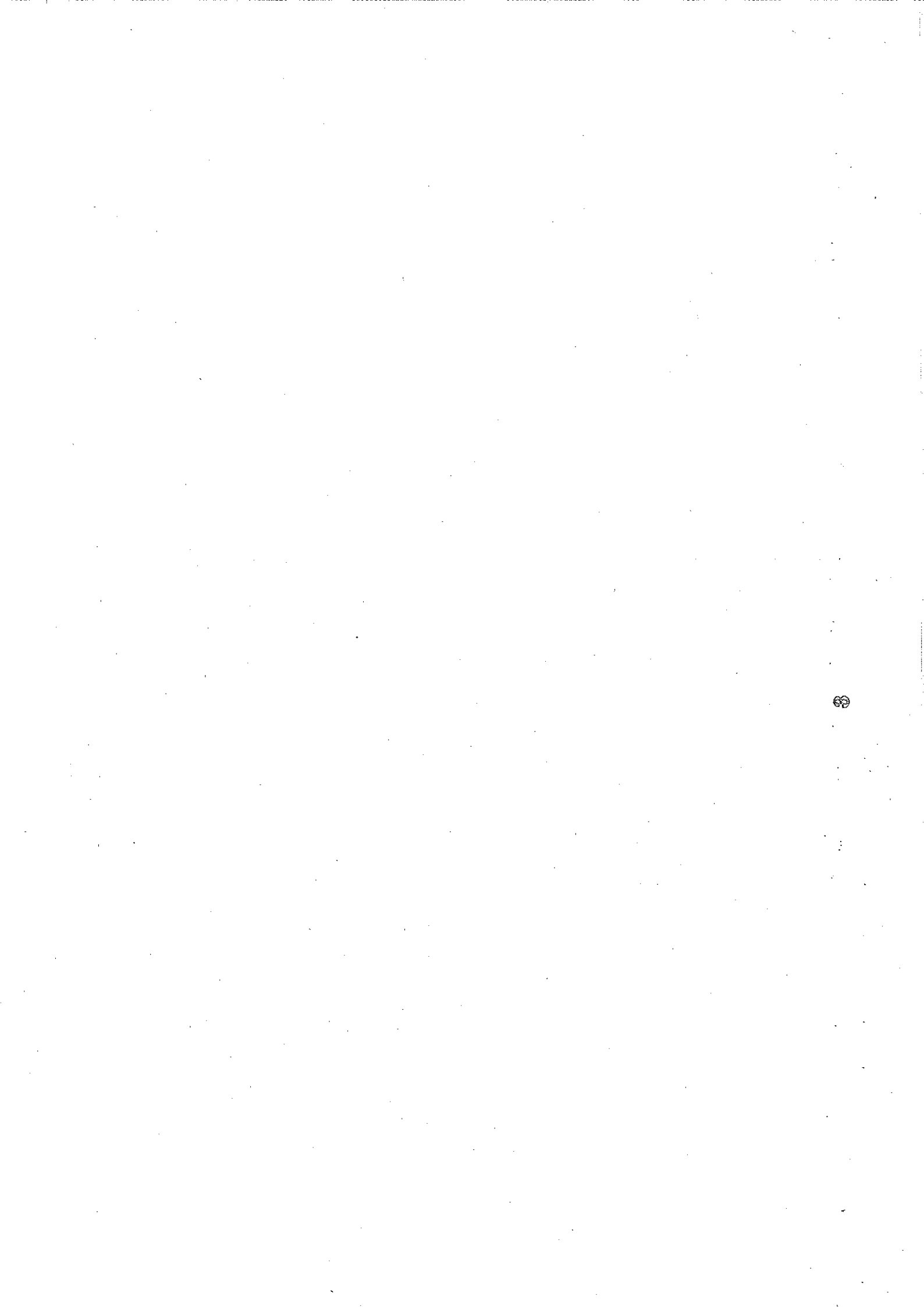
以 上

問題一

以下の文章は、アウリツィオ・ラッツァラート（村澤真保呂ら訳）『出来事のポリテイクス』（二〇〇八年）の一部である。これを読んで、次の問に答えなさい。

問一 傍線部「もたらなる実験と創造のプロセスの開始である」とはどのようなことか。具体例を示しつつ三〇〇字以内で説明しなさい。

問二 著者の論旨を参考に、「さまざまな可能性への入口」について、具体的な場面・状況や出来事を示し、そこにどのような方向性があると考えるか、あなたの考えを述べなさい。



問題二 次の文章を読み、問に答えなさい。

問 ジェンダーの視点から教育を見直す意義について、著者の見解を四〇〇字以内で説明しなさい。

(出典 天野正子「この本の扉に」天野正子・木村涼子編『ジェンダーで学ぶ教育』世界思想社、二〇〇三年、一〜八頁。ただし、見出しおよび本文の一部に省略がある。)

